

印西市生き生き職場体験学習② ケーブルテレビ「らーばんねっと」

「これまでもテレビ放送に
関心の高い生徒が参加されて
います」と語る「らーばんね
っと」の山本さんに体験学習

ほっとレポート

広報レポーター:宇野 建夫(小倉台)

内容などをお聞きしました。
一日目は、ケーブルテレビ局
とはどんなところか。番組制
作の流れなどの説明、実際の
スタジオ機材を使っている編
集作業も体験します。二日目は
今回の同行取材です。市内の
特別養護老人ホーム「みどり
荘」で、同級生が行っている
職場体験の様子をテレビカメ
ラを使ってレポートします。
午後は牧の原にあるスパー
マーケット「ジャパニミート」
での職場体験の様子をレポー
トを予定。参加する生徒は木
川中学校2年生の東美優さん
安田花絵さん、山崎裕也くん
です。



▲前列左から山崎くん、安田さん、東さん、後列左かららーばんねっとの三浦さん、山本さん

▶三浦さんの指導で撮影する山崎くん

玄関でのオープニングのこ
の撮影からです。カメラ
は三浦さんが回し「ハイ、ス
タート」で山崎くんのコメン
ト。やや緊張気味なのか、1



回、2回とNG、3回目にな
るとか「OK」と、三浦さん
の声で山崎くんもほっと息
ついてホールで行われるリ
ハビリ体操。高齢者のみなさ
んが車椅子に乗ってトレーナ
ーの先生を囲んでいます。こ
の輪の中に、「みどり荘」で

体験学習の生徒3人が、高齢
者のみなさんに付き添い一人
ひとり丁寧に話しかけていま
す。ここでは、山崎くんがカ
メラマン。三浦さんの指導の
下、撮影を進めます。高齢者
のみなさんも、ちよど孫の
世代との会話にうれしそう
うでした。

ロビーに戻り、「みどり荘」
で体験学習をしている渡辺く
ん、佐野さん、松田さんへの
インタビュー撮影です。

最初は山崎くんが、渡辺く
んをインタビュー。相手の目
線とカメラの位置を意識して
自然な映像になるようにと三
浦さんが細かく指導。何度か
撮り直すうちに、徐々にまと
まってきました。続いて東さん
が佐野さんに聞くカット。質
問と答えが自然につながるよ
うに、と三浦さんが教えてく
れました。相手の言葉を受け
取って次の質問につなげると
いう難しいところです。安田

さんが松田さんにマイクを向
け「みどり荘を選んだ理由は
なんですか？」と質問すると
「これから高齢者が増えてい
くので、介護の仕事が大事に
なると思ったからです」と松
田さん。

最後に「みどり荘」の介護
福祉士青野さんに、東さんが
インタビュー。「3名の生徒さ
んの働きぶりもしっかりして
いて感心しています。介護の
仕事は思いやりが大事ですが、
生徒のみなさんは、高齢者との
会話も上手にできています。
将来福祉の仕事に就いてくれ
るとうれいすね」と語っ
てくれました。

中学2年生といえは14歳の
希望の溢れた世代。自分
の将来について、具体的に考
える機会を持つことの大切さ
を改めて感じた取材でした。



いざね思ひ出 写真館

広報レポーター:藏元 三四郎(大森)

上の写真が撮影されたのは昭和37年(1962年)。当時の印西町の世帯数は3,201世帯、男性8,508人、女性8,682人で合計17,190人(3月末)。写真中の後ろ姿の女性は、そのお一人でしょうか。千葉ニュータウン地区の事業計画が制定されたのは昭和41年(1966年)。ニュータウンはまだ原野で、北総線は影も形もありません。

この写真を撮影した人は、ある地区の四つ角に立っています。郷愁をそそるこの町並みも、祭りの日は一転します。当時は成田や船橋からも見物客が訪れ、大混雑。それぞれの通りから御輿が集結し、この場所でクライマックスを迎えました。右側の飲食店の2階窓には見物客が鈴なり、興奮が高まります。

そんな思い出話をお聞きしたのは、このお店の女将さんだった伊藤雅子さん。雑貨屋から始まり、飲食店まで120年の歴史があるそうです。地域に根付き、親しまれ、2階の座敷では地元の人たち以外にも官公庁の宴会、議員の会合が開催されました。近くにあった川では川エビやフナが獲れ、お店で出したそうです。「お酒を飲んで泥酔した馬方が荷車に乗ると、帰り道を覚えている馬が、勝手に主人を家まで運んでいった」と面白いエピソードも。

しかし、何度か増改築を重ねたこのお店、残念ながら昨年取り壊されてしまいました。改築のたび、店名が刻まれた皿や徳利を記念に持ち帰る人が多く、小粋な玄関、唐破風の下に飾られた櫛の看板は今も所在不明です。

平成8年(1996年)に市制を施行した印西市の人口は、現在6万6千人を超えました。その賑わいの原点がここに 있습니다。

さて、ここはどこでしょうか?

《12月15日号の解答》



▲答えは「木下河岸」。左写真とは角度は異なりますが、現在(右写真)は河岸もなくなり、大きな木も生え、利根川の形も変わっています。

文芸コーナー

短歌

俳句

フロアーの木目の模様は父に見え母にも見えて霜月の尽
大塚 秋坂 文子

黄葉せる大豆の葉群に置く露の朝の光に冷ゆる寂しさ
小林 小田川 芳子

大学のキャンパス内の並木道銀杏の落葉にくつ音さやぐ
大森 羽方 政子

今日来ればこすもす畑に丈低き返り花咲く色あざやかに
西の原 濱崎 伸枝

また来てね子等の笑顔に託児所に紙芝居持ちまた訪ね行く
原 大西智恵子

五十嵐正雄選

恙なき証を綴る日記買う
あかし

落葉着て眠る古墳や遠筑波
原山 片岡 芳子

ナウマン象出土の沼や初霞
内野 榎本 聖彦

年とれどあいも変らぬ歳の暮
大森 葛西 節子

鯛焼きの袋のぬきき五ツ入り
大塚 石井 章夫

リサイクル情報広場

掲載情報は平成21年12月25日現在
圏生活環境課クリーン推進班(☎内線363)

- ◆ゆづりませ情報(有料の物は希望価格)
 - ▲背広上下(紺・要相談)▲背広上下(黒・要相談)▲背広上下(ダークグレー・要相談)
 - ▲木製ハイチェア(2千円)▲エレクトーン(要相談)▲きかり幼稚園制服(要相談)
 - ▲スノーボードとブーツ(2組・それぞれ3千円)▲柏日体大高校セーターとベスト(要相談)
 - ▲ノートパソコン(2万4千円)▲冷凍冷蔵庫(要相談)▲テレビ(2台・それぞれ無料)
 - ▲印西中学校女子制服スカート(夏・冬用・無料)。
- ◆さがしています情報
 - ▲全自動麻雀卓▲印旛高校女子制服▲ノートパソコン▲県立我孫子高校指定セーター
 - ▲麻雀卓▲印西しおん幼稚園男子制服(115cm)▲電子ピアノ▲小林中学校女子制服(MかL)
 - ▲小林中学校女子体操服(MかL)▲幼児用自転車▲きかり幼稚園制服、体操服など。

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバックを持参しましょう。

〈短歌・俳句をお寄せください〉
一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。